

早急に「事業継続」協議する 山口労働局が回答

ルネサス実行委員会は8月31日、過日の山口県や宇部市、柳井市につづいて山口労働局（笹嶋貢局長）に、ルネサス リストラ「合理化」について申し入れました。

申し入れ書は、「生産能力の効率化を理由に従業員を退職（解雇）に追い込むなど、その犠牲をすべて従業員に押しつけ、働く権利、生活権を奪うことは許せない」として、山口工場（宇部市）、柳井工場（柳井市）の売却・閉鎖撤回、雇用の確保、退職強要をおこなわないことなどをルネサス本社、工場に求めることを要請しました。また、ルネサス従業員から寄せられたアンケートの要望に基づいて、早期退職募集での差別的処遇や、有給休暇の完全消化の制限などをおこなわないことを申し入れました。

応対した山口労働局担当者は、「県や関係市・町と連携して離職者の支援に積極的に取り組んでいく」「退職強要があれば個別の相談を通じて早急に対処する」「有給休暇の完全消化について、会社に未消化の買い上げができることなどを説明した」と回答しました。

これに対し、実行委員会側から「雇用確保、地域経済まもるには、事業継続をはかるしかなく、関係市・町との対策協議会として、本社や厚生労働省へ要請するよう協議してほしい」と求めました。労働局担当者は、「早急に対策協議会を開いて、要請内容について協議する」と応えました。



8月31日山口労働局へ申し入れ（右側が藤永佳久会長）

アンケート回答者に返信

8月初旬におこなった山口工場（宇部市）、柳井市工場でのアンケート配布で、回答が8通が寄せられ、その後も、電話、メールの相談も寄せられています。

9月1日、アンケートに氏名、住所が書かれていた方、メール方に、山口労働局が回答した内容について返信しました。

宣伝行動・労働相談ホットライン

9月 4日（火） 7：30～8：30 柳井工場門前
9月 5日（水） 7：30～8：30 山口工場門前
9月 5日（水） 13：30～14：30 山口工場門前
9月 5日（水） 21：30～22：30 山口工場門前
9月16日（日） 10：00～18：00 ホットライン
山口、宇部、下関、周南、岩国の労働相談センター

その中では、労働局も積極的に対応を協議する。退職強要は不当であり、あれば労働局が対応する。早期退職募集は「会社都合」の退職となる。有給休暇残日数の完全消化できなかった日数については買い上げできる、などをお知らせしました。